

指定管理者評価票（令和元年度分）

全般的事項

施設名称：瑞穂町郷土資料館  
 担当部課係：教育部 図書館 文化財担当

1 指定管理者の名称	アクティオ株式会社
2 指定管理の期間	令和元年4月1日から令和6年3月31日まで 5年
3 指定管理の目的及び求める効果	郷土資料館の管理運営を効率的かつ効果的に行なうため、郷土資料館指定管理者制度を導入する。
4 指定管理の業務内容	1 事業の実施に関する業務 2 施設等の使用の許可に関する業務 3 施設等の維持管理に関する業務 4 利用料金の収受
5 施設の概要	<p>(1)施設及びサービスの内容                      企画展示や講演会など各種事業等を展開し、地域の歴史文化の一層の増進と交流・活動の場として提供する。</p> <p>(2)規模                      敷地面積 3,950.66㎡                      郷土資料館：建築面積1,729.57㎡ 延べ面積2,201.28㎡                      四阿：建築面積12.96㎡ 井戸上屋：建築面積6.25㎡</p> <p>(3)設備内容                      1階：事務室、常設展示室、企画展示室、多目的室、会議室、体験学習室、ガイドンスホール、整理作業室、調査室、燻蒸室、荷解室、収蔵庫、特別収蔵庫、倉庫、授乳室、更衣室、便所、湯沸室                      2階：会議室、収蔵庫、書庫、特別展示スペース、展望デッキ、倉庫、便所                      四阿、井戸上屋</p> <p>(4)設置年月及び経過年数（導入時）                      平成26年6月30日完成                      （導入後6年経過）</p> <p>(5)建設費用                      土地242,039,592円 建物874,913,607円</p> <p>(6)大規模改修の経緯と費用                      なし</p> <p>(7)維持補修・改修の予定及び時期                      なし</p>
6 指定管理における具体的な目標	<p>(1)利用者へのサービス水準の向上目標                      利用者が「また来たい」と感じてもらえるよう、利便性の向上や魅力ある事業の提供、また、おもてなしの心あふれる接遇等を徹底しサービスの向上に努める。</p> <p>(2)運営の効率化に関する目標                      予実管理表、事業計画、業務日報を作成し、PDCAマネジメントサイクルにて運用し見直しと効率化を図る。</p> <p>(3)施設維持管理費に関する削減目標                      維持管理の基本方針（法令順守・保守点検・不具合時の迅速対応・省エネ/省資源・利用者の意識喚起・予防保全）と維持管理業務計画による経費削減に取り組む。</p> <p>(4)その他の目標                      利用者が満足して利用していただけるよう、快適な雰囲気と空間を提供する。</p>
7 モニタリング（利用者の意見把握）の内容	アンケート実施

指定管理評価票（令和元年度分） 個別項目・総括

施設の名称： 瑞穂町郷土資料館  
 担当部課係： 教育部 図書館 文化財担当

業務評価指標		前指定末 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
協定書・仕様書で示した事項	郷土の歴史、民俗、自然、文化、教育資料の収集及び継承と発展に関する事業	全主催事業数 105事業	全主催事業数 105事業				
	使用の許可及び制限等に関する業務	適正に運営	適正に運営				
	利用料金の收受業務	295,225	277,525				円
	施設、設備の維持及び保全業務	適正に運営	適正に運営				
	清掃その他環境衛生管理業務	適正に運営	適正に運営				
開館日数等 (条例で示した施設目的の達成度)	条例で示した開館日数	347	348				日
	実開館日数	346	345				日
維持管理状態		上記で示した事項に記載のとおり	上記で示した事項に記載のとおり				

インプット指標（行政資源（歳出・人・物）の投入量）		前指定末 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料（委託料）		58,726,000	60,863,000				円
指定前の管理経費（町支出以外）または指定管理料以外の支出金額		0	0				円
職員の投入実態		175,000	175,000				円（時間*人/週）
物品の提供実態		0	0				円
インプット指標合計		58,901,000	61,038,000				円
提供物品の名称と数量：		0	0				

アウトプット指標（事業の活動量、活動実績）		前指定末 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5
施設延べ利用者数		45,666	39,325				人/年間
実利用者内訳（町内外利用者別）	町内在住者	19,466	20,129				人/年間
	町外在住者	26,200	19,196				人/年間
施設稼働率 (施設稼働日数及び貸出日数)	貸出日数	145	137				日/年
	稼働日数	346	345				日/年
	稼働率	42%	40%				
利用料収入		295,225	277,525				円
その他収入	事務所家賃 *	0	0				円
	事務所光熱水費 *	0	0				円
	その他	214,245	272,861				円
	計	214,245	272,861				円

※ 指定管理者が管理の範囲を超えて事務所を使用する場合の室料、光熱費等を計上する。

業務収支

収入の部		前指定末 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5	
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料		58,726,000	60,863,000					円
指定前の管理経費（町支出以外）または公的援助		175,000	175,000					円
利用料収入		295,225	277,525					円
その他収入		214,245	272,861					円
収入の部 合計	算定	59,410,470	61,588,386					円
	実収入	59,235,470	61,413,386					円

支出の部		前指定末 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5	
報酬		21,720,545	22,379,656					円
賃金(臨時職員等)								円
報償費（出演者、講師、審査員謝礼）								円
需用費（消耗品、燃料費、印刷製本費、修繕料、食糧費）		3,882,756	4,025,310					円
役務費（通信運搬費（切手、電話代）自動車保険料、建物保険料ピアノ調律）		3,380,283	3,485,263					円
委託料(保守点検、警備、定期清掃、庭木選定)		19,695,338	20,589,365					円
使用料及び賃借料（ラジオ聴取料、電柱共架料）								円
工事請負費								
備品購入費								
負担金等		10,556,548	10,933,792					円
公課費								
支出の部 合計		59,235,470	61,413,386					円

収支差引	算定	175,000	175,000					円
	実収支	0	0					円

指定管理者自己評価

利用者数の増加への取組み	前指定末（H30）	耕心館・郷土資料館共通の施設案内のチラシを作成し、町内全世帯、町主催のイベント時に配布を行う等、館内外の広報活動を充実させ、当館の利用を促しました。
	R1	設置目的に則した施設運営、主催事業として親子で参加できる事業のほか、幅広い年齢層の方に参加していただける事業を実施し、利用者増に取り組みました。講師を町民や近隣地域の方に依頼し、特色のある新たな自主事業に取り組みました。また1月18日には来館者20万人を達成しました。
収入増に対する取組み	前指定末（H30）	恒例となっている工作教室の他に、懐かしいおやつ作り、村山大島紬に関連した染色体験教室等のイベントを実施するなど、収入増に努めました。
	R1	工作教室の人気の高いことから、前年同様の工作教室のほか、企画展開連のワークショップでは、専門家の指導のもと体験教室を開催しました。小学生以下対象のお菓子作り教室のほかに、大人対象の精進料理教室、パティシエを講師に招いた体験教室を行ない収入増に努めました。
コスト削減に対する取組み	前指定末（H30）	昨年度同様、夜間開館時間帯に見学者がいない場合には小まめに消灯を行う取組を行ないました。また、企画展開催時の展示パネルや什器等については、コストの安価な部材を購入し自主制作するなど、外注制作を行わないような工夫をし、コスト削減に努めました。
	R1	昨年度同様、夜間開館時間帯に見学者がいない場合には小まめに消灯を行い、冷暖房についても夜間は使用を控える等の取組を行ないました。また、自主事業のチラシ作成については、自主制作可能なものは外注制作を行わないようにしました。印刷納期についても可能な限り最長にすることで安価に仕上げられるようにし、コスト削減に努めました。

アウトカム指標（施設・事業がもたらす効用等）

利用者の利便性改善	前指定末（H30）	耕心館・郷土資料館共通の施設案内のチラシを作成し、町内全世帯、町主催のイベント時に配布を行う等、館内外の広報活動を充実させ、当館の利用を促しました。
	R1	耕心館との連携を含め、館内外の広報活動を充実させ、当館の利用を促しました。特に町内外のデイサービス施設の利用者が多いことから、広報活動を積極的に行いました。また町主催のイベント時には、チラシ配布を行うなどの広報活動に努めました。
プログラム等質の改善	前指定末（H30）	地域文化に関連した講座を地域住民の協力のもと実施し、講座や企画展も幅広い世代が参加できる事業の実施に取り組みました。
	R1	地域文化に関連した講座や企画展を地域住民の協力のもと実施しました。幅広い世代が参加できる講座や企画展、家族で参加することができる事業の実施に取り組みました。また利用者の意見を取り入れた実施時間帯にするなどの改善を行いました。
利用者の満足度 （アンケート等客観的もの）	前指定末（H30）	主催事業等で実施しているアンケートの集計結果を分析、またイベント参加者やボランティア等との対話を通して、これまでの事業になかった新たな主催事業を展開することに努めました。なお、アンケート調査の結果で「大変良い」、「良い」の割合は95%と評価を得ています。
	R1	主催事業については実施しているアンケート集計結果を分析、またイベント参加者やボランティア等との対話を通して、事業を展開することに努めました。また新たに実施した事業については概ね好評で、次年度も実施して欲しいとの声を多く聞くことができました。

その他

		前指定末 (H30)	R1	R2	R3	R4	R5		
建設経費（元利返還費用）	建設費	0	0					円	
	償還利息	0	0					円	
利用者1人あたりの経費 （指定管理料等及び指定管理料等＋建設経費）	利用者数	45,666	39,325					人/年間	
	管理経費または指定管理料等	58,901,000	61,038,000					円	
	管理経費または指定管理料等/人	1,290	1,552					円/人	
	（管理経費または指定管理料等＋建設費）/人	1,290	1,552					円/人	
修繕費（協定等に基づく指定管理者負担上限額：20万円/件）	指定管理者が行なった修繕	件数	15	6				件	
		金額	612,248	274,152				円	
		内容	企画展示室扉修理等	駐輪場雨樋修理等					
	町が行なった修繕	件数	0	0					件
		金額	0	0					円
		内容	0	0					
立ち入り検査状況									
遵法検査 ・法で定められている場合、回数を記載。 ・それ以外の場合、非該当と記載。また、施設独自で同様の検査・指導を受けている場合は、その旨を記載。	消防法設備点検（法定年2回）		2					回/年	
	冷暖房設備（法定1回）		2					回/年	
	自動ドア（法定外）		3					回/年	
	自家用電気工作物（法定年6回）		6					回/年	

総括

		前指定末 (H30)						
			R1	R2	R3	R4	R5	
経費比較 (指定前と指定後) ※実経費では、「職員の投入実態」及び「物品の提供実態」を除外	算定	指定後	58,901,000	61,038,000				円
		指定前	25,486,941	58,901,000				円
		比較	33,414,059	2,137,000				円
	実経費	指定後	58,726,000	60,863,000				円
		指定前	17,011,941	58,726,000				円
		比較	41,714,059	2,137,000				円
評価	前指定末 (平成30年度)							
1次評価 担当課	郷土資料館では、企画展や講演会、親子で楽しめる工作教室や耕心館との連携事業（みずほ雛の春まつり・山野草まつり）など魅力ある事業を実施し、年間の来館者数は45,666人と前年度と比較して13.1%、5,274人増加となり、3月末には開館からの来館者数が17万人を超えることができた。また、きらめき回廊計画の拠点施設として情報の発信、周辺施設（さやま花多来里の郷、里山民家等）や各課との連携、各団体等に協力をいただき講演会や企画展などの事業を実施し、積極的に地域の活性化に努めている。施設の管理では、適正かつ迅速に行っており、町担当者と指定管理者が協力して業務遂行にあたっている。							
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 企画展や講演会、親子で楽しめる工作教室や耕心館との連携事業など魅力ある事業を実施し、開館からの来館者数が17万人を超えた。また、みずほ☆きらめき回廊の拠点施設として情報の発信、周辺施設や各課との連携、各団体等に協力いただき講演会や企画展などの事業を実施し、積極的に地域の活性化に努めている。 【主な指摘】 企画展や講演会、教室等新たな事業への取り組みが来館者の大幅な増加につながっている。みずほ☆きらめき回廊の拠点施設として、引き続き、情報発信をはじめ、周辺施設や各課と連携しながら、地域の活性化に努め適正な施設運営に期待する。							
評価	令和元年度（1年目）							
1次評価 担当課	郷土資料館では、企画展や講演会、親子で楽しめる工作教室や耕心館との連携事業（山野草まつり）など魅力ある事業を実施し、1月中旬には開館からの来館者数が20万人を超えることができました。また、周辺施設（里山民家等）や近隣自治体、各課との連携事業の実施、各団体等の協力により講演会や企画展などの事業を実施しています。加えて、きらめき回廊計画の拠点施設として情報を発信するなど、積極的に地域の活性化に努めています。なお、令和元年度来館者数は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、2月下旬以降から予定していた瑞穂のつるし飾り（6日間実施）や講演会などの事業を中止又は延期したため、39,325人と前年度と比較して△13.9%、6,341人の減少となりました。施設の管理では、適正かつ迅速に行っており、町担当者と指定管理者が協力して業務遂行にあっています。							
2次評価 指定管理者選定委員会	【主な効果】 企画展や講演会、親子で楽しめる工作教室や耕心館との連携事業を実施し、1月中旬には開館からの来館者数が20万人を超えた。また、きらめき回廊計画の拠点施設として情報を発信するなど、積極的に地域の活性化に努めている。 【主な指摘】 年間の来館者数、特に町外からの来館者が順調に伸びており、回廊計画の拠点施設として情報の発信、周辺施設や各課と連携しながら、積極的に地域の活性化に努めている。今後も利用者数の増加への取組に期待する。							